

2011年東北地方太平洋沖地震津波 茨城県鹿島港・波崎海岸調査

2011年3月12日実施

(独)産業技術総合研究所 活断層・地震研究センター
海溝型地震履歴研究チーム

宍倉正展・藤原治・澤井祐紀・行谷佑一

3月12日調査地点



深刻な被害の地域には近づけないため、つくばから日帰りで行ける範囲の茨城県南部沿岸を調査

航空写真

写真

つくば

1. 稲敷(液状化)

2. 鹿島港

3. 波崎海岸

JP

A

?

?

CAPS

KANA

利用規約

105%

Survey of Japan

1. 稲敷(液状化)



川沿いなどで多数の液状化が発生



上:地盤沈下

右:噴砂現象

2. 鹿島港の浸水状況

津波によって流された
コンテナの散乱



2. 鹿島港周辺

津波によって漂流した車(車のドアなどにウォーターマークが明瞭)



ウォーターマーク: 津波などで浸水したあとに残る、水面の跡

2. 鹿島港周辺の津波堆積物



津波の流向を示すリップルマークが明瞭

2. 鹿島港周辺での浸水状況

地面から1.8 m



ウォーターマークが明瞭
少なくとも1.8mの高さまで浸水した

3. 波崎海岸での津波遡上痕

標高約7mの砂丘を越えた津波

砂丘：
高度標高約7 m



遡上高：標高約10 m

木くずが集まっているあたりまで遡上した